

令和2年度定時総会議案書

議案第2号 令和元年度決算収支計算書

令和2年6月

一般社団法人金沢港振興協会

令和元年度決算収支計算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差引増減額
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
(1) 特定資産運用収入	550	276	△ 274
① 特定資産運用収入	550	276	△ 274
(2) 入会金収入	10,000	30,000	20,000
(3) 会費収入	7,710,000	7,680,000	△ 30,000
(4) 補助金等収入	290,418,000	279,699,614	△ 10,718,386
① 石川県補助金収入	151,830,000	136,428,682	△ 15,401,318
② 金沢市補助金収入	135,338,000	140,020,932	4,682,932
③ 商工会議所助成金収入	3,250,000	3,250,000	0
(5) 寄付金	0	0	0
(6) 港フェスタ協賛金等	900,000	2,098,000	1,198,000
(7) 雑収入	7,048,000	10,142,800	3,094,800
(8) 預金利子	2,350	996	△ 1,354
① 普通預金利子	2,350	996	△ 1,354
計(A)	306,088,900	299,651,686	△ 6,437,214
2 事業活動支出			
(1) 振興事業費支出	264,956,000	250,362,844	△ 14,593,156
① 貿易関連拡大事業費支出	13,700,000	13,896,353	196,353
ア) ポートセールスミッション派遣費	3,500,000	3,239,965	△ 260,035
イ) 国内港湾セミナー開催事業費	1,100,000	2,936,785	1,836,785
ウ) 海外港湾セミナー開催事業費	1,200,000	0	△ 1,200,000
エ) 港湾利用推進懇談会開催事業費	500,000	306,408	△ 193,592
オ) 中国・韓国ポートセールス推進事業費	1,900,000	1,786,978	△ 113,022

科 目	予算額	決算額	差引増減額
力) 東南アジアポート セールス推進事業費	1,500,000	1,506,249	6,249
キ) 金沢港物流コーディネーター事業費	4,000,000	4,119,968	119,968
② クルーズ振興事業費支出	245,836,000	230,983,704	△ 14,852,296
ア) クルーズ船誘致強化 事業費	25,000,000	30,030,439	5,030,439
イ) クルーズ船受入体制整備 事業費	98,576,000	79,324,707	△ 19,251,293
ウ) 金沢港発着クルーズ 拠点化推進事業費	25,200,000	19,971,575	△ 5,228,425
エ) 日本海周遊クルーズ 受入事業費	97,060,000	101,656,983	4,596,983
③ 賑わい創出事業費	3,620,000	3,998,022	378,022
ア) 客船入港歓迎事業	1,120,000	878,940	△ 241,060
イ) 港フェスタ開催等事業	2,500,000	3,119,082	619,082
④ 広報宣伝事業費	1,800,000	1,484,765	△ 315,235
(2) 港湾整備・運営調査研究 事業費支出	1,400,000	970,117	△ 429,883
① 先進事例視察	150,000	90,700	△ 59,300
② 調査研究活動事業	1,250,000	879,417	△ 370,583
(3) 利用促進事業費支出	27,890,000	30,687,366	2,797,366
① 金沢港冬季入出港支援 事業費	1,400,000	1,892,500	492,500
② 金沢港利用拡大支援 事業費	8,400,000	18,298,000	9,898,000
③ 金沢港定期航路運航 支援事業費	3,600,000	4,463,633	863,633
④ 金沢港物流ルート転換 支援事業費	10,000,000	4,843,933	△ 5,156,067
⑤ 集荷対策促進事業費	490,000	0	△ 490,000
⑥ 物流事業者と連携した 金沢港利用転換促進事業費	2,000,000	1,098,000	△ 902,000
⑦ 金沢港定期航路寄港 円滑化支援事業費	2,000,000	91,300	△ 1,908,700
(4) 管理費	11,454,000	14,217,766	2,763,766
① 人件費	9,656,000	12,315,671	2,659,671
② 事務費	1,798,000	1,902,095	104,095
(5) 予備費	100,000	0	△ 100,000
計 (B)	305,800,000	296,238,093	△ 9,561,907
事業活動収支差額 (A - B = C)	288,900	3,413,593	3,124,693

科 目	予算額	決算額	差引増減額
II 投資活動収支の部			
1 事業活動収入	0	0	0
計 (D)	0	0	0
2 投資活動支出	550	276	△ 274
(1) 特定資産取得支出	550	276	△ 274
構築物取得支出	0	0	0
車両購入積立預金定期利息	550	276	△ 274
(2) 固定資産取得支出	0	0	0
什器備品購入支出	0	0	0
(3) 為替レート評価損支出	0	0	0
計 (E)	550	276	△ 274
投資活動収支差額 (D - E = F)	△ 550	△ 276	274
III 財務活動収支の部			
1 事業活動収入	0	0	0
計 (G)	0	0	0
2 投資活動支出	0	0	0
計 (H)	0	0	0
財務活動収支差額 (G - H = I)	0	0	0
当期収支差額 (C + F + I = J)	288,350	3,413,317	3,124,967
前期繰越収支差額 (K)	8,044,072	8,044,072	0
次期繰越収支差額 (J + K = L)	8,332,422	11,457,389	3,124,967

正味財産増減計算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

(単位：円)

科 目	R元年度	H30年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産受取利息	276	551	△ 275
受取入会金	30,000	20,000	10,000
正会員受取会費	7,680,000	7,710,000	△ 30,000
港フェスタ協賛金等	2,098,000	985,000	1,113,000
受取補助金等	281,459,034	256,127,813	25,331,221
受取石川県補助金	136,428,682	126,187,551	10,241,131
受取金沢市補助金	140,020,932	124,930,842	15,090,090
受取金沢商工会議所助成金	3,250,000	3,250,000	0
受取補助金等振替額	1,759,420	1,759,420	0
受取負担金	0	0	0
寄付金	0	0	0
雑収益	10,143,796	10,253,625	△ 109,829
受取利息	996	792	204
雑収入	10,142,800	10,252,833	△ 110,033
経常収益計	301,411,106	275,096,989	26,314,117
(2) 経常費用			
振興事業費	250,362,844	224,028,894	26,333,950
調査研究事業費	970,117	1,170,809	△ 200,692
利用促進事業費	30,687,366	29,689,103	998,263
減価償却事業費	1,759,420	1,759,420	0
管理費	14,217,766	13,992,044	225,722
減価償却費	558,441	558,441	0
経常費用計	298,555,954	271,198,711	27,357,243
評価損益等調整前当期経常増減額	2,855,152	3,898,278	△ 1,043,126
為替レート評価損益等	0	0	0
当期経常増減額	2,855,152	3,898,278	△ 1,043,126
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益の部			
経常外収益の部計	0	0	0
(2) 経常費用の部			
経常外費用の部計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,855,152	3,898,278	△ 1,043,126
一般正味財産期首残高	14,853,036	10,954,758	3,898,278
一般正味財産期末残高	17,708,188	14,853,036	2,855,152
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
受取県補助金	0	0	0
受取市補助金	0	0	0
一般正味財産への振替額	△ 1,759,420	△ 1,759,420	0
構築物 県補助金	△ 1,180,540	△ 1,180,540	0
構築物 市補助金	△ 578,880	△ 578,880	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,759,420	△ 1,759,420	0
一般正味財産期首残高	22,594,542	24,353,962	△ 1,759,420
一般正味財産期末残高	20,835,122	22,594,542	△ 1,759,420
III 正味財産期末残高	38,543,310	37,447,578	1,095,732

貸 借 対 照 表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
普通預金	40,471,735	15,939,297	24,532,438
未収金	48,783,219	43,604,686	5,178,533
立替金	0	21,552	△ 21,552
仮払金	0	36,500	△ 36,500
流動資産合計	89,254,954	59,602,035	29,652,919
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
自動車購入積立定期預金	3,254,894	3,254,618	276
構築物	20,835,122	22,594,542	△ 1,759,420
特定資産合計	24,090,016	25,849,160	△ 1,759,144
(2) その他固定資産			
什器備品	2,995,905	3,554,346	△ 558,441
その他固定資産合計	2,995,905	3,554,346	△ 558,441
固定資産合計	27,085,921	29,403,506	△ 2,317,585
資産合計	116,340,875	89,005,541	27,335,334
II 負債の部			
I. 流動負債			
未払金	76,823,650	50,580,487	26,243,163
預り金	973,915	977,476	△ 3,561
流動負債合計	77,797,565	51,557,963	26,239,602
2. 固定負債	0	0	0
負債合計	77,797,565	51,557,963	26,239,602
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			0
県補助金	13,329,500	14,510,040	△ 1,180,540
市補助金	7,652,240	8,231,120	△ 578,880
指定正味財産合計	20,835,122	22,594,542	△ 1,759,420
うち特定資産への充当額	20,835,122	22,594,542	△ 1,759,420
2. 一般正味財産	17,708,188	14,853,036	2,855,152
うち特定資産への充当額 (連絡車購入積立金)	3,254,894	3,254,618	276
正味財産合計	38,543,310	37,447,578	1,095,732
負債及び正味財産合計	116,340,875	89,005,541	27,335,334

財 産 目 録

令和2年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資 産 の 部		
1 流 動 資 産		
預 金 (普通預金)	40,471,735	
未 収 金	48,783,219	
前 払 費 用	0	
仮 払 金	0	
流 動 資 産 合 計		89,254,954
2 固 定 資 産		
特 定 資 産		
自動車購入積立定期預金	3,254,894	
構築物 (指定)	20,835,122	
その他固定資産		
什器備品	2,995,905	
固 定 資 産 合 計		27,085,921
資 産 合 計		116,340,875
II 負 債 の 部		
1 流 動 負 債		
未 払 金	76,823,650	
預 り 金	973,915	
流 動 負 債 合 計		77,797,565
2 固 定 負 債	0	
固 定 負 債 合 計		0
負 債 合 計		77,797,565
正 味 財 産		38,543,310

固定資産台帳
平成31/04/01～令和02/03/31

一般社団法人金沢港振興協会

資産 科目 場所	担 名 目 集 計	者 先 計 区 分	数 取 得 年 月 日	種 類 目 考	償却方法 耐用年数 償却率 当期償却月数	取得価額 償却可能額 備忘額	額 限 額	経 理 方 式	期首帳簿価額 計算の基礎 となる額	算出償却限度額 増加償却限度額 特別償却区分 特別償却限度額 準備金積立額	当期償却限度額 当期償却額	期末帳簿価額 期末残価率 改定帳簿価額 償却累計額	前期償却過不足額 当期償却過不足額 期末償却過不足額	参 考	【法人一確定】
															考
2130001 簡易テント 213 構築物 000 共通場所 000 共通部門	000 共通担当		平成29/03/31 平成29/03/31	1 建物附属設備 アーケード又は日よけ設備 主として金属製のもの	定額法 15年 0.067 12ヶ月	8,640,000	適用なし	適用なし	7,434,000	578,880	578,880	6,855,120 79.3%	0		1
2130002 C I Q 幕 213 構築物 000 共通場所 000 共通部門	000 共通担当		平成29/03/31 平成29/03/31	1 建物附属設備 アーケード又は日よけ設備 主として金属製のもの	定額法 15年 0.067 12ヶ月	17,620,000	適用なし	適用なし	15,160,542	1,180,540	1,180,540	13,980,002 79.3%	0		2
[213 構築物 小計]						26,260,000			22,594,542	1,759,420	1,759,420	20,835,122	0		
2160001 w i f i 環境整備 216 什器備品 000 共通場所 000 共通部門	000 共通担当		平成28/03/26 平成28/03/26	1式 器具及び備品 2 事務機器、通信機器 電話設備その他の通信機器 金沢港無量寺・戸水・大浜埠	定額法 10年 0.100 12ヶ月	4,968,000	適用なし	適用なし	3,436,200	496,800	496,800	2,939,400 59.1%	0		0
2160002 パソコン 216 什器備品 000 共通場所 000 共通部門	000 共通担当		平成29/03/31 平成29/03/31	1台 器具及び備品 2 事務機器、通信機器 電子計算機	定額法 4年 0.250 12ヶ月	246,564	適用なし	適用なし	118,146	61,641	61,641	56,505 22.9%	0		0
[216 什器備品 小計]						5,214,564			3,554,346	558,441	558,441	2,995,905	0		
[合計]						31,474,564			26,148,888	2,317,861	2,317,861	23,831,027	0		

2020年度(令和2年度) 金沢港振興協会事業計画 (案)

金沢港における、コンテナ貨物取扱量は、2019年に過去最高取扱量を4年連続更新した。金沢港のコンテナ貨物取扱いのシェアの5割弱を占める中国の貨物量が伸びたことや、東南アジアの輸入貨物が増えたこと等によるものである。

国内・国外ともに景気減速の中でも、中国貨物は高水準な伸びを示したものの、今後の景気動向には不安定な要素もあり、東南アジア方面貨物の一層の取り込み強化や物流企業とも連携した貨物の底上げを図ることが課題である。

クルーズ客船の金沢港寄港については、2019年は大型のクルーズ船の寄港が増え、全体で50本の寄港となり、乗船客数も63千人を超え過去最高となった。2020年にはクルーズターミナルの完成とともに、金沢港での発着や新たな寄港船なども見込まれ50本超の寄港が見込まれていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により現在45本の予定となっている。

今後の取組みとしては、前年に引き続き石川県において前後泊が期待でき、経済効果の高い「金沢港発着クルーズ」の定着に向け、乗船客の確保に取り組むこととしているほか、横浜港との広域連携の協力のもとクルーズ船誘致にも取り組むものである。

開港50周年を迎える2020年度においても、モノと人とが活発に交流する「日本海側の国際物流拠点港並びに外航クルーズ拠点港」を目指し、石川県や金沢市など関係機関とも連携し、官民一体となって貨物集荷と定期航路の充実、クルーズ船誘致とクルーズ人口の拡大に向け、下記の事業の実施について積極的に取り組み、さらなる金沢港振興に繋げてまいりたい。

1 港湾振興のための要望活動の実施

金沢港の港湾機能の充実と利便性向上のために、次の事項の実現に向けて、関係機関に働きかけていく。

- ① 大浜国際物流ターミナルの水深13m化の早期完成
- ② 貨物の国際定期航路の新設・拡充
- ③ 貨物利用向上のためのポートセールスの推進
- ④ 大型クルーズ船受入体制の充実強化と寄港の誘致推進

2 物流の拡大事業の実施

金沢港の取扱貨物の更なる利用拡大を図るために、次の事業を積極的に推進していく。

- ① 金沢港セミナー及び利用促進のための懇談会の開催
- ② 県内企業の地元港利用促進のために、荷主への物流ルート変更のトライアル輸送の推進
- ③ 東南アジア、中国、韓国への海外ポートセールスの推進
- ④ 複数の企業が同一の船で貨物を共同輸送する合い積み輸送の推進
- ⑤ 物流企業との連携による集荷・配送・在庫管理等のサービス提供

3 貿易貨物の拡大に向けた助成事業の実施

金沢港の貨物取扱の利便性向上・利用拡大を図るため、荷主・船社等に対するインセンティブとして、次の助成制度について、周知と円滑な交付

- ① 金沢港利用のコンテナ貨物量が3カ年平均より増大した荷主に対する一部助成
- ② 物流事業者と連携した金沢港利用転換促進に対する一部助成
- ③ 物流ルートを他港から金沢港に変更する荷主のトライアル輸送に対する一部助成
- ④ 県営くん蒸上屋施設を利用した荷主に対する利用料の一部助成
- ⑤ 定期航路を開設している船社に対する入港・岸壁使用料の一部助成
- ⑥ 冬季（11月～2月）荒天時に入出港する船社に対する引き船使用料の一部助成

4 クルーズ船誘致の強化

金沢港へのクルーズ船誘致による交流人口増大と背後地の経済効果拡大を図るため、次の事業を実施する。

- ① クルーズ船寄港時の歓送迎イベントの実施と寄港地観光コース等の紹介
- ② 石川らしいもてなしで、クルーズ船の歓送迎を行うため、「金沢港クルーズ・ウェルカム・クラブ」の活動推進
- ③ 海外クルーズ船社の幹部招聘と観光プランの提案及び海外クルーズ見本市でのセールス並びに誘致活動の実施
- ④ 金沢港発着クルーズの乗船客拡大のため、県内外でのクルーズセミナー等の開催
- ⑤ 日本海周遊クルーズ定着のため、日韓の5港湾の都市連携を実施
- ⑥ コスタクルーズ社による日本海周遊クルーズの受け入れ体制の強化
- ⑦ 欧米ラグジュアリー船誘致のため、日本海・瀬戸内海の港湾連携によるPRイベント実施
- ⑧ 金沢港発着クルーズ定着促進のための旅行会社と連携した集客促進に対する助成措置
- ⑨ クルーズ先進地（豪州）で旅行博への出展やチャーター旅行社へのセールスを実施

5 広報宣伝事業の実施

金沢港の港湾機能やサービス内容等について、広く啓蒙普及を図り、利用拡大を働きかける。

- ① 金沢商工会議所等の会報を利用した広報、会員へのメール配信での情報提供
- ② 金沢港の港湾機能、インセンティブ、クルーズ等のパンフレット作成と啓蒙普及
- ③ 協会ホームページによる広報活動の充実
- ④ 金沢港視察・見学会の受入れ・案内
- ⑤ 開港50周年記念「港フェスタ金沢2020」を開催（7月18日（土））

6 臨 金沢港開港50周年記念事業の実施

- ① 金沢港発着県民ワンナイトクルーズへの支援
- ② 船会社、旅行会社向けクルーズセミナーの開催 など

7 調査研究事業の実施

金沢港の国際物流拠点化を目指し、当面抱える諸課題について、調査研究を行う。

- ・ 金沢港の貿易取扱量の大宗を占める中国、韓国、東南アジア地域の投資環境や社会情勢、物流戦略等の調査研究

令和2年度収支予算（案）

令和2年4月1日～令和3年3月31日

科 目	予算額	備考
I 事業活動収支の部		
1 事業活動収入		
(1) 特定資産運用収入	550	
① 特定資産運用収入	550	連絡車購入積立金利息
(2) 入会金収入	10,000	1社
(3) 会費収入	7,740,000	
(4) 補助金等収入	229,929,000	
① 石川県補助金収入	112,532,000	
② 金沢市補助金収入	114,147,000	
③ 商工会議所助成金収入	3,250,000	
(5) 寄付金等収入	0	
(6) 港フェスタ協賛金等	900,000	
(7) 雑収入	7,000,000	人件費負担金 シャトルバス運行収入
(8) 預金利子	3,000	
① 普通預金利子	3,000	
計（A）	245,582,550	
2 事業活動支出		
(1) 振興事業費支出	206,383,000	
① 貿易関連拡大事業費支出	14,000,000	
ア) ポートセールスミッション派遣費	3,500,000	
イ) 国内港湾セミナー開催 事業費	1,100,000	首都圏、県内
ウ) 海外港湾セミナー開催 事業費	1,200,000	
エ) 港湾利用推進懇談会 開催事業費	500,000	県内

科 目	予算額	備考
オ) 中国・韓国ポートセールス事業費	1,900,000	上海等ポートセールス、物流アドバイザー設置
カ) 東南アジアポートセールス推進事業費	1,500,000	東南アジアポートセールス
キ) 金沢港物流コーディネーター事業費	4,300,000	物流コーディネーターの配置
② クルーズ振興事業費	161,763,000	
ア) クルーズ船誘致強化事業費	30,000,000	客船誘致活動
イ) クルーズ船受入体制整備事業費	81,112,000	客船受入体制の整備
ウ) 金沢港発着クルーズ拠点化推進事業費	24,900,000	発着クルーズ拠点化推進
エ) 日本海周遊クルーズ受入事業費	25,751,000	コスタクルーズ受入
③ 賑わい創出事業費	3,620,000	
ア) 客船入港歓迎事業	1,120,000	
イ) 港フェスタ開催等事業	2,500,000	7月実施
④ 広報宣伝事業費	1,800,000	パンフ作成、各機関会報等掲載、ラジオ放送、ホームページ更新等
⑤ 金沢港開港50周年記念事業費	25,200,000	ワンナイト県民クルーズ、クルーズセミナー、記念式典等
(2) 港湾整備・運営調査研究事業費支出	1,400,000	
① 先進事例視察	150,000	資料収集、先進港湾視察等
② 調査研究活動事業	1,250,000	
(3) 利用促進事業費支出	25,890,000	
① 金沢港冬季入出港支援事業費	1,400,000	引船使用料助成（冬季利用）
② 金沢港利用拡大支援事業費	8,400,000	荷主利用助成
③ 金沢港定期航路運航支援事業費	3,600,000	港湾使用料助成（定期航路）
④ 金沢港物流ルート転換支援事業費	10,000,000	物流ルート転換輸送支援助成
⑤ 集荷対策促進事業費	490,000	くん蒸施設使用等助成
⑥ 物流事業者と連携した金沢港利用転換促進事業費	2,000,000	物流事業者連携利用転換助成
(4) 管理費	11,538,000	
① 人件費	9,740,000	
② 事務費	1,798,000	
(5) 予備費	100,000	
計 (B)	245,311,000	
事業活動収支差額 (A - B = C)	271,550	

科 目	予算額	備考
II 投資活動収支の部		
1 事業活動収入	0	
計 (D)	0	
2 投資活動支出	550	
(1) 特定資産取得支出	550	
構築物取得支出		
車両購入積立預金定期利息	550	
(2) 固定資産取得支出	0	
(3) 為替レート評価支出	0	
計 (E)	550	
投資活動収支差額 (D - E = F)	△ 550	
III 財務活動収支の部		
1 事業活動収入	0	
計 (G)	0	
2 投資活動支出	0	
計 (H)	0	
投資活動収支差額 (G - H = I)	0	
当期収支差額 (C + F + I = J)	271,000	
前期繰越収支差額 (K)	11,457,389	
次期繰越収支差額 (J + K = L)	11,728,389	